



2018年3月22日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

～JR 東日本水戸支社 6次産業化商品 第6弾～ 茨城県産の抹茶と卵を使った一口和菓子 「きぬのまゆ玉 贅沢抹茶」発売！

JR 東日本水戸支社では、JR 東日本グループの地域活性化の取組み「のもの1-2-3」プロジェクトの一環として、茨城県西部の猿島地方（古河市・常総市・坂東市・八千代町・境町）で生産され、濃厚な味と香りが特徴の日本茶「さしま茶」と、コクのある黄身が魅力の「奥久慈卵」を使用した、抹茶風味の一口和菓子「きぬのまゆ玉 贅沢抹茶」を発売いたします。

茨城県産抹茶が香る新商品を、是非一度ご賞味ください。

1 発売日 2018年3月26日（月）

2 商品名 きぬのまゆ玉 贅沢抹茶

3 販売箇所

(1) 駅構内

- ①水戸駅改札内「IBARAKI E-MONO」
- ②水戸エクセルみなみ 3F「茨城味撰倶楽部」
- ③東京駅構内地下1F 改札外「のもの東京」

(2) その他

館最中本舗 湖月庵

(茨城県筑西市稲荷町)

4 価格 1箱（9個入りうち抹茶5個） 1,198円（税込）

5 プロジェクトメンバー

- (1) 1次生産者（抹茶生産）・・・有限会社ネモト（お茶の根本園）
（卵生産）・・・株式会社ひたち農園
- (2) 2次加工者（商品製造）・・・有限会社湖月庵（館最中本舗 湖月庵）
- (3) 商品プロデュース・・・JR 東日本水戸支社

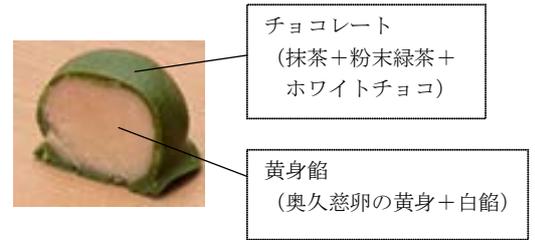


【商品イメージ】

6 商品特徴

茨城県西部の猿島地方（古河市・常総市・坂東市・八千代町・境町）で生産されており、日本で初めてアメリカに輸出された日本茶とされる「さしま茶」。その「さしま茶」を代々扱う「お茶の根本園」で6代目茶師の根本宏紀氏が丹精込めて作る抹茶と、県内でも有名な「館最中本舗 湖月庵」の人気商品で2017年の全国菓子大博覧会において農林水産大臣賞を受賞した「きぬのまゆ玉」がコラボレーション。

茨城県産の「奥久慈卵」を使いしっかりと仕上げた黄身餡を、さしま茶の抹茶と粉末緑茶を練りこんだホワイトチョコで包み、さしま茶の旨味が詰まった一口和菓子に仕上げました。



「お茶の根本園」6代目
ひろき
根本宏紀 氏



「湖月庵」社長
たかのり
上野貴則 氏

7 日本赤十字社への寄付について

寄付つき商品としての既存の「きぬのまゆ玉」と同じく、本商品も売上の一部が日本赤十字社に寄付されます。寄付金は、日本赤十字社の活動資金として、災害時の医療救護活動やこころのケア、救援物資の配布などの活動に充てられます。

(寄付については日本赤十字社ホームページ (<http://www.jrc.or.jp/contribute/>) をご参照ください。)

8 のもの1-2-3プロジェクトとは

地域の魅力ある農産物等の素材と優れた加工技術を組み合わせ、JR 東日本グループがプロデュースすることで、6次産業化に向けたものづくりを推進し、地域における新たな産業の創出と、さらなるマーケットの需要拡大や交流人口の拡大促進といった地域活性を図るプロジェクトです。



【参考：これまでの JR 東日本水戸支社 6次産業化商品】

第1弾「ほしいも農家の白ぷりん」、第2弾「おちぼ栗」、第3弾「UMEFULL」、第4弾「ほしいも農家のみるくアイス」、第5弾「とまプチけーき」